

2015年

# グローバル退職貯蓄会議からの考察

## 私的年金制度と公的年金制度の役割

### 会議について

市民が十分な退職後資金を確保できるよう支援することは、世界中の国々が直面している難題の1つです。大半の年金制度は公的年金と私的年金から成りますが、それらは、各国独自の文化的、政治的、経済的ニーズに応じて、連携して機能するよう設計されています。

退職所得に占める公的年金の割合が私的年金よりも高い国もあれば、その逆もあります。同時に、人口動態の変化や経済情勢による圧力が高まり、私的年金と公的年金の役割ならびにその相互作用の見直しを積極的に進める国が増えています。その結果、多くの国々が私的年金と公的年金の構成要素の再評価や再構築を行うようになっています。

これらが、6月24日にパリで開催された2015年グローバル退職貯蓄会議での中心的な論点でした。ICIグローバル、経済協力開発機構（OECD）および年金監督者国際機構の共催によるこの会議は、ICIグローバルが香港（2013年）、ジュネーブ（2014年）および東京（2015年）で開催した同様の会議での議論を引き継いだものでした。

ICIグローバルは、パリで行われたこの会議による指摘事項を文書化するために、会議後の報告書として「グローバル退職貯蓄会議からの考察：私的年金制度と公的年金制度の役割」を発行しました。

### 会議後の報告書について

同会議のプレゼンテーションとパネルディスカッションの編集済み原稿を特集した「グローバル退職貯蓄会議からの考察：私的年金制度と公的年金制度の役割」は、以下の内容を含む様々なトピックスに関する情報を提供しています。

公的年金および私的年金の役割に関するOECDの見解

チリ、デンマークおよび米国における退職制度の全体像

香港、ラテンアメリカ、オランダおよび米国における私的年金

報告書の第1章は、OECDの私的年金に関する作業部会の研究で浮かび上がったテーマについて議論した、OECD事務総長の次席補佐官ジュアン・イェルモ氏によるプレゼンテーションを取り上げています。

経済協力開発機構（OECD）および年金監督者国際機構による共催

第2章は、チリ、デンマーク、米国の専門家が、自国の年金制度ならびに、各国年金制度の中心部分との間の相互作用について協議したオープニングパネルのディスカッションをまとめています。この3カ国の年金制度は大きく異なるものの、3つの共通点があります。1つ目は公的年金制度と私的年金制度が相互補完関係にあること、2つ目は高所得者層の私的年金への依存度が高いこと、3つ目は公的年金制度は様々な人々に異なる保障水準とリスク分担を提供するという事です。パネリストはまた、制度設計の重要性について言及するとともに、設計が貯蓄インセンティブに影響を与えることを指摘しました。

報告書の最終章では、香港、オランダ、米国およびラテンアメリカのいくつかの国における私的年金制度の設計方法に焦点を当てた2つ目のパネルディスカッションを紹介しています。パネリストは、適用範囲の拡大、自己資本の拡充および効果的な規定投資手段や投資回収ソリューションの考案など、年金制度が直面している問題点も討議しました。

全文をお読みにになりたい場合は、[www.iciglobal.org/retirementpublications](http://www.iciglobal.org/retirementpublications)をご覧ください。

## ICIグローバルについて

Investment Company Instituteの国際支部であるICIグローバルは、世界各地の管轄地の投資家に公に提供される規制ファンドを含むファンドの一員であり、その合計資産は19.1兆ドルです。ICIグローバルは、規制投資ファンドやファンド運用者、投資家の共通利益を高め、また一般社会における理解を広めることを追及しています。政策目標は、金融安定、クロスボーダー規制、市場構造および年金規約などの分野において、ファンドにとって重要な問題点に焦点を当てています。ICIグローバルは、ロンドン、香港およびワシントンDCに事務所を構えています。

## 詳細について

2015年グローバル退職貯蓄会議の資料（パネリストのスライド、スピーカーの経歴およびビデオ映像を含む）はすべて、[www.iciglobal.org/grsc](http://www.iciglobal.org/grsc)から入手できます。会議の出版物およびグローバル長期貯蓄と退職に関するご質問は、退職方針担当アソシエイト・チーフ・カウンセルであるアンナ・ドリッグス ([anna.driggs@iciglobal.org](mailto:anna.driggs@iciglobal.org)) までご連絡ください。



110 Bishopsgate, 19th Floor  
Suites 19-06 and 19-07  
London, EC2N 4AY  
United Kingdom  
+44 (0) 207 961 0830  
[www.iciglobal.org](http://www.iciglobal.org)

Suite 715-717, Level 7  
Two Exchange Square  
8 Connaught Place  
Central, Hong Kong  
+852 2168 0882

1401 H Street, NW  
Suite 1200  
Washington, DC 20005  
United States  
+001 202 326 5800  
[www.ici.org](http://www.ici.org)